

『PCA 固定資産シリーズ』

Ver.1.0 Rev.6.47プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

FKM_S_260721

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

《インボイス経過措置対応》

インボイス経過措置70%控除に対応しました。

◇ 資産の登録、仕訳データの作成

- 。 インボイス経過措置70%控除対応の税区分を使用した消費税計算に対応しました。

◇ 資産の登録 - リース資産

- 。 基本支払リース料、維持管理費、それぞれの消費税額の補正に対応しました。
令和8年10月1日以降の支払額について、インボイス経過措置70%控除へ変更します。一括での変更はデータの保守から行うことができます。

◇ データの保守

- 。 リース資産 インボイス経過措置控除割合の一括更新機能を用意しました。

◇ 汎用データの作成・受入

- 。 リース資産の追加項目に対応しました。

《資産》

◇ 資産の一覧入力

- 。 資産の一覧入力処理で、資産除去債務の入力に対応しました。

《全体》

◇ 製品共通機能改善

- 。 製品起動時のバージョン不一致メッセージについて、バージョン表記からリビジョン表記に変更しました。
- 。 管理者製品アップデート通知ダイアログから一括バックアップ処理を起動できるようにしました。
- 。 バージョン情報ダイアログの表示項目に「セットアップタイプ」「ログオンユーザー」を追加しました。

◇ アップデート管理機能強化（『PCAクラウド』『PCAサブスク』のみ）

- 。 クライアントアップデートを管理機能からのみアップデート可能とする機能を追加しました。

互換性に関する変更点

《データ領域の更新について》

データ領域のバージョンを「8.23」に更新しました。

下記のデータ構造を拡張しました。

- 税区分
- 資産(リース)

<<APIの変更について>>

以下のデータ構造を拡張したため、バージョンを更新しました。

- 税区分（バージョン「104」）
- 資産（バージョン「114」）

<<汎用データの変更について>>

以下のバージョンを更新しました。

- リース資産（バージョン「18」）